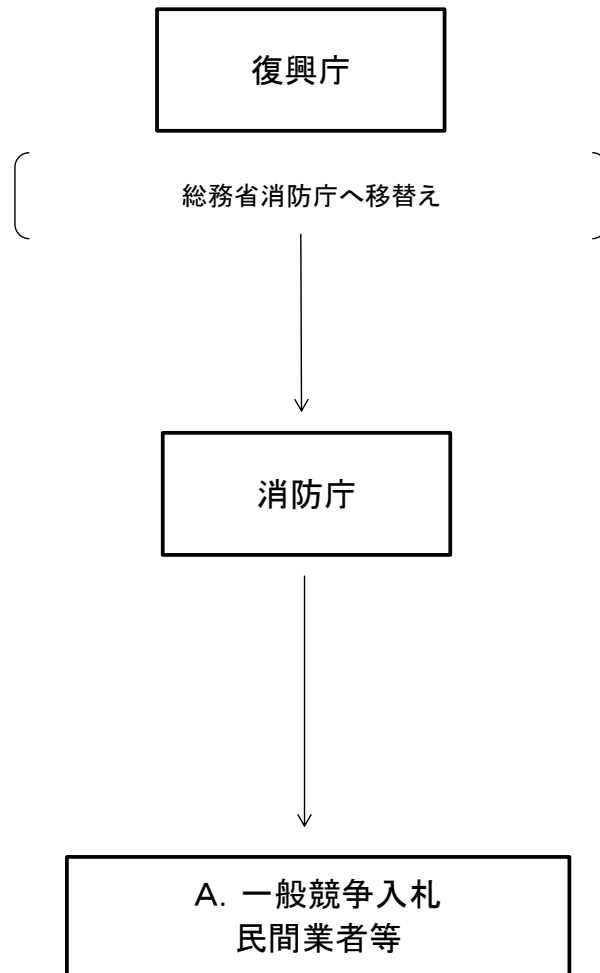


平成25年行政事業レビューシート							(復興庁)	
事業名	被災地における消防団の安全確保と復興推進事業		担当部局庁	復興庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～未定		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 大野 秀敏		
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	復興施策の推進 東日本大震災からの復興に係る施策の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	物品の無償貸付及び譲与等に関する法律 総務省所管に属する物品の無償貸付及び譲与等に関する省令		関係する計画、通知等	消防庁長官が行う物品の無償貸付及び譲与に関する要綱(平成22年1月22日消防総第65号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	被災3県(岩手県、宮城県、福島県)の消防団について、トランシーバーや放射線線量計など津波災害時や原子力災害避難指示解除準備区域等の消防団活動に係る安全確保機材等を整備(無償貸付)し、借受け団体において検証訓練を行うもの。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東日本大震災の教訓を踏まえ、被災3県(岩手県、宮城県、福島県)の消防団が、津波災害時や原子力災害避難指示解除準備区域等において安全に活動を行うことができるようトランシーバーや放射線線量計などの資機材を整備するとともに、津波災害時等における消防団の隣接市町村等への応援出動を支援するための救助資機材搭載車両を整備(無償貸付)し、借受け団体において検証訓練を行うもの。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input checked="" type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算				191	63	
		繰越し等				-		
		計				191	63	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)	
	岩手県、宮城県、福島県の沿岸市町村における津波災害時等における消防団の隣接市町村等への応援出動を支援するための救助資機材搭載車両を整備(無償貸付)し、借受け団体において検証訓練を実施するもの		訓練の実施団体	-	-	-	100% 全ての借受け団体で検証訓練の実施	
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	無償貸付先の団体数		活動実績 (当初見込み) 団体数	-	-	-	21	
単位当たりコスト	-		算出根拠	-				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	消防防災等業務庁費	191	63	原発被害による避難指示区域を有する自治体への広域応援に限定したことによる対象団体数の減				
	計	191	63					

事業所管部局による点検					
	項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	東日本大震災の教訓を踏まえ、被災3県(岩手県、宮城県、福島県)の消防団が、津波災害時や原子力災害避難指示解除準備区域等において安全に活動を行うための事業であり、国民ニーズや優先度が高い事業である。必要な資機材等を国が整備し、当該資機材等により消防団等が訓練等を行うものであり、役割分担は明確である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	調達是一般競争入札等を予定しており、各種予算の執行管理を徹底し、経費の削減に努めることとしている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-			
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名
点検結果	東日本大震災の教訓を踏まえ、岩手県、宮城県、福島県の消防団に係る安全対策を引き続き実施する必要があるため、平成26年度概算要求を行うことを予定。				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
-	消防団に係る安全対策を引き続き実施するため、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
-	引き続き効率的な予算の執行に努めていく。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年		平成23年		
				平成24年	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り
先が何を行っている
かについて補足
する)(単位:百万
円)